



どうだん娘の岡本莉奈さん(20歳)と大呂麻結さん(20歳)

**40回節目智頭どうだんまつり**  
5月13～15日 町民グラウンド

どうだんまつりは3日間とも天候に恵まれ、約12,000人が来場しました。

今年は開花状況が良く、赤や薄紅色の花をつけたドウダンツツジが色鮮やかに咲き誇り、どうだん娘とともに会場を彩りました。

どうだん娘の岡本さん(写真左)は「記念の40回目に選んでいただいて光栄。頑張つて智頭をPRしたい」と意気込みを語りました。



『森のガイド7期生』誕生!!

**森林セラピー推進協議会総会**  
5月7日(土) ほんのぼ

智頭町森のガイド7期生として、新たに16人が認定されました。昨年度は約1,400人が森林セラピーを体感し、セラピー弁当も約700食の注文を受けました。智頭町の森林セラピーは医学的に裏付けされた癒し効果が期待できます。

町民のみなさんは無料で体験できます。健康づくりのきっかけに是非お試しください。



智頭少年野球クラブのメンバー

**第23回西日本学童軟式野球大会に出場決定!**

智頭少年野球クラブが八頭郡予選を勝ち抜き、西日本大会に出場することとなりました。6年生の代表6人が町長に、優勝報告と西日本大会への決意表明を行いました。

西日本大会は8月19日(金)から21日(日)に舞洲(まいしゅう)スポーツスタジアム(大阪市此花区)で開催されます。応援よろしくお願いします!



那岐駅の様子

**那岐駅に春のスローライフ列車**  
5月14～15日 那岐駅

春のみまさかスローライフ列車が因美線津山駅を出発し、お昼すぎに那岐駅に停車。那岐小唄や地元の家台、よさこい踊りなどを楽しみました。

両日とも200人を超えるお客様が訪れ大盛況!

みまさかスローライフ列車の旅は秋にも開催します。次回をお楽しみに!





園児の踊りで牛たちを応援！



最優秀賞の「やすふくかつ」号

## 畜産共進会開催

5月26日(木)町民グラウンド

本町では、和牛の資質向上に力を入れる生産者の技術等の向上を図るため、鳥取県内では唯一、町単位で畜産共進会を開催しています。

第172回を数えた今回の畜産共進会には、7戸の生産者が各区(生まれ月別)に16頭を出品し、最優秀賞には、佐々木金作(きんさく)さんが出品した「やすふくかつ」号、優秀賞には大原秀之(ひろゆき)さんが出品した「しんやすえ」号が輝きました。

本町は、古くから畜産業が盛んであり、全国でも有名な種雄牛の育成につながった「第20平茂(ひらしげ)」を生み出した歴史ある和牛産地として、全国からも注目を集めています。

次代を担う子ども達や町民のみなさんに、智頭牛に対する興味・関心を高めてもらうことや、地域の和牛生産を広くPRすることを目的に、保育園児・小学生を招いた審査見学や、園児の踊りの披露、智頭小学校2年生の牛の絵画コンクールを行い、会場を盛り上げました。



鳥取西高の生徒や先生も参加



スタッフ12人が手際よく

## ボランティアで花植え

5月22日(日)智頭病院

「智頭つくし会」(西尾正会長)が、病院西側の花壇に季節の花を植栽しました。つくし会では患者さんや地域のみなさんの癒しに少しでも役立てればと、毎年ボランティアで植栽を続けています。

今年もマリーゴールドやポーチユラカ、ベゴニア、ガーベラ、パープルフラッシュ(観賞用とうがらし)など6種約4百株の花々が初夏には見頃を迎えます。

## 田植えで国際交流

5月28日(土)坂原

百人委員会が発足、自立したコントリビュションの会による田植えが行われ、約100人が参加しました。収穫したお米はケニアの孤児院に送られます。

7回目となる今年は、スーパーグローバルハイスクールに指定されている鳥取西高校の生徒と先生や、鳥取大学の留学生らの参加がありました。

秋の収穫時には、みなさんの参加をお待ちしています。